

水道に関するアンケートの結果から

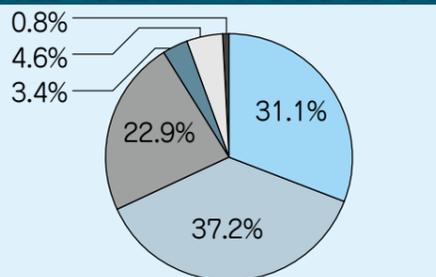
水道局では、昨年11月に「水道に関する意識調査」を実施しました。

この調査は、皆さまの水道の使用状況や水道に関する満足度、ニーズなどの実態を把握し、事業運営に役立てるため実施したもので、使用者の中から無作為に1,000名を選び、郵送によるアンケートをお願いし、411名の皆さまからご回答をいただきました。

また、インターネットによる市政モニターアンケートも併せて実施しました。

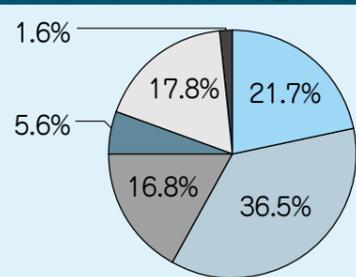
今回は、水道水の安全性等についてのアンケート結果をお知らせします。

◆水道水の安全性についてどう思いますか？



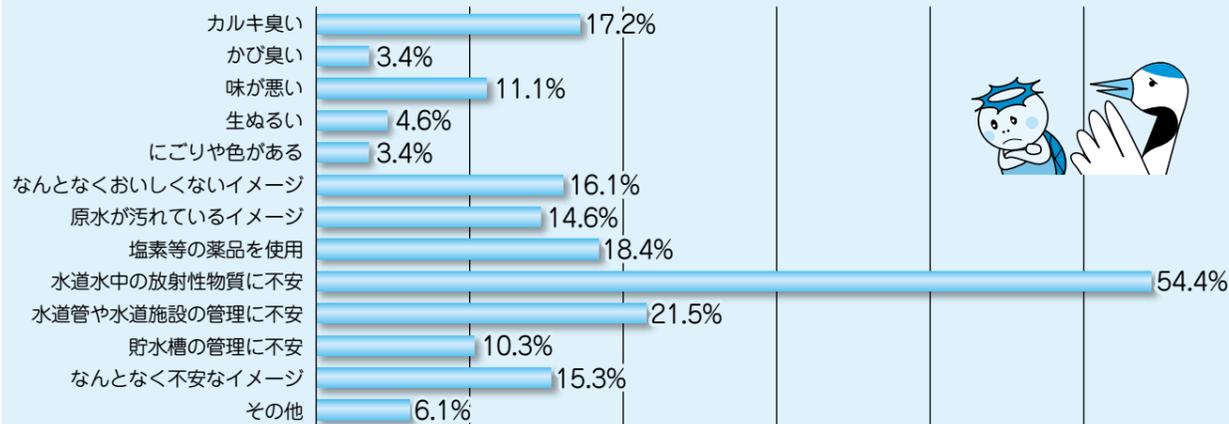
- 安全だと思う
- 多少気になるが飲料水として問題ない
- 飲料水としては不安を感じる
- 不安があり、料理にも水道水は使用しない
- 特に気にしていない、関心がない
- 無回答

◆飲み水としての水道水に満足していますか？



- 満足している
- どちらかといえば満足している
- どちらかといえば不満である
- 不満である
- どちらともいえない
- 無回答

◆水道水に不安や不満を感じている理由は？



水道水に不安や不満を感じていると回答した261名の方に理由を尋ねたところ、「水道水中の放射性物質に不安がある」と回答された方が54.4%いらっしゃいました。

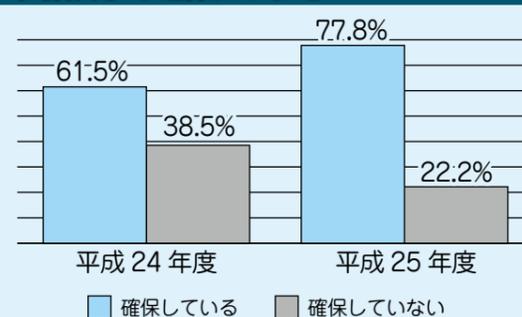
また、「水源地が放射能に汚染されているので不安である」、「雨が降った後、放射性物質の影響が不安になる」などのご意見もありました。

水道局では、各浄水場の給水栓（水道蛇口）から採水した水道水について、市内9か所で週に3回、その他3か所で週に1回、放射性セシウムなどの検査を行っており、平成23年4月4日以降すべて不検出となっています。この検査結果は、水道局のホームページ、FMいわきなどでお知らせしておりますのでご確認ください。なお、現在の検出下限値は1ベクレル/kgとなっています（厚生労働省が定める「水道水中の放射性物質に係る管理目標値」は10ベクレル/kg）。

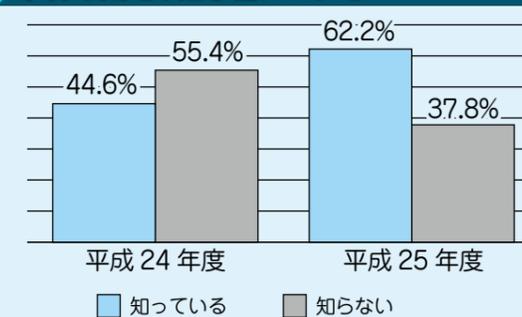
○お問い合わせ 経営企画課広報情報係 TEL 22-9309

また、インターネットによる市政モニターアンケートは、毎年同じような内容を皆さまにお尋ねしていますので、お客様の意識の傾向を知ることができます。そこで、「災害が発生した時に備えて飲料水を確保していますか？」と「市内21か所にある非常用地下貯水槽についてご存知ですか？」という2つの項目について、平成24年度の結果と比較してみました。

◆飲料水の確保について



◆非常用地下貯水槽について



「災害が発生した時に備えて飲料水を確保している」と答えた方は、平成24年度に比べて16.3ポイント増加しており、「非常用地下貯水槽について知っている」と答えた方は、17.6ポイント増加しています。これらの結果から、災害に対する意識が高まっている傾向にあることが分かります。

災害はいつ起こるかわかりません。皆さまには引き続き家庭でできる「災害に対する備え」をお願いします。

家庭でできる災害時の水の備え

① 飲料水を確保する

1人1日3リットルの飲料水が必要とされています。水道水を備蓄する場合は、ふたのできるペットボトルなどの容器いっぱいに入れ、暗く涼しい場所に保管して、3日に1回は水を入れ替えてください。期間が過ぎたら洗濯や花の水やりなどにご使用ください。



② ポリ容器などの水容器を準備しておく

清潔なポリタンクやバケツなどを準備しておく、給水車などから応急給水を受けるときに便利です。

③ お風呂の残り湯はすぐに捨てない

火災発生時の初期消火用水やトイレを流す水などの生活雑用水として使うことができます。

～皆さまの質問にお答えします～

アンケート調査の中で、皆さまからいただいたご質問にお答えします。

Q1 放射性セシウム以外の放射性物質の検査は行わないの？

A1 水道局では、放射性セシウム134及び137のほか放射性ヨウ素について検査を行っています。なお、平成23年11月には、民間の検査機関に依頼して水道水中の放射性ストロンチウムの検査を実施しましたが、その結果は市内全ての浄水場で「不検出（ND）」でした。

Q2 自宅の水圧が低いのでどうにかありませんか？

A2 水道局担当窓口にご相談ください。お住まいの地区により次のとおり担当が決まっています。

平地区	水道局工務課	工務第一係	TEL 22-9306
内郷、好間地区	//	工務第二係	TEL 22-9307
四倉、小川、川前、久之浜・大久地区	//	工務第三係	TEL 22-9308
小名浜地区	南部工事事務所	工務第一係	TEL 75-0801
勿来、田人地区	//	工務第二係	TEL 75-0802
常磐、遠野地区	//	工務第三係	TEL 75-0803

地震などの災害が起こったときに、応急給水用の水を確保するため、市内21か所に設置している施設です。

一滴の常識。非常用地下貯水槽って何？